

# 3年A組 課外授業

大橋屋 presents  
adult only



いやああ～  
やめて下さい  
アスナさん～

ちょっと！  
そんなに逃げたら  
洗えないでしょー？

ゴミ

ゴミ

いつも  
お風呂くらいで  
情けないんだから  
……

ご、ごめん  
なさい……

男の子でしょ？

もう！

3









なんや  
違つたんか♥

ネギ君♥  
よかつたあ

あっ！

フフ

私も…！

わっ

えニ

えニ

んんつ♥  
先生の  
おちんちん  
おいひい  
れす・♥

ネギ先生の  
おちんちん  
私が気持ち良く  
してあげます  
からね！

んー♥

ひあっ！  
ま、待って  
下さい  
皆さん

キュー  
キュー

レニッ

あー



い、いけない事なのに

金玉……  
先生の  
きんたまあ

ひいい！  
き、金玉  
食べない  
で……！

気持ちいい……！

毛  
きんひや  
ま：♥

シコ

モ

イカされ  
ちゃう……  
ま、また

ふむつ  
んんつ  
♥♥

気持ち  
いい  
よお！  
激し！  
ううつ  
そんな

あはア  
♥

すつこ  
元気♥

あア———ッ！  
せ、精液出ちゃう！  
漏れちゃうよおお！  
いひいいいい！

うぐううう！  
ぐんんつ  
ふつふつぶぐつ

ヒュ

ヒュ

ドヒュ

ゴブ



ケホッ すこい…たくさん  
出ましたね先生…  
私のお口でイッてくれて  
嬉しいです♥



12



グキュー

んんっ  
ネギ君  
ネギ君  
・  
・  
・  
・  
・

つはあ  
はああつ  
ネギ君  
好きつ  
好きつ  
好きつ  
・  
・  
・  
・  
・

ハ  
ン

ハ  
ン

ズボッ

ズ  
ン

ズボッ

ああつ！すごい：  
まき絵さん！

はあ  
はあ  
らめえ  
ネギ君の  
おちんちん  
気持ちいい  
・  
・  
・  
・

ん  
ン  
ン  
ン  
ン

ン  
ン

ハ  
ン

ハ  
ン

ハ  
ン

ハ  
ン





ひあああああ  
き、気持ち：い：精子：  
あはああああああつ  
♥

あはつ♥こんなに  
濡らしちゃって：

ネギ君たちのセックス見て  
感じちゃったんだ♥

ハア

や、やめて！  
そんなこと  
ない……！

アスナさん……！

ほら、ネギ君もアスナに  
入れたがってる♥見て：  
あの勃起したおちんちん♥

ハア

ネギ

パカッ♥

アスナのおまんこ  
突き刺して、中でこすられ  
ながら一番奥に子種を  
打ち込んで、アスナと  
子作りしたがってるんよ♥

やだつ！  
恥ずかし……！

ひああつ♥

お、おちんちん  
コスリつけない  
でよおつ！

ア、アスナさんと  
子作り！ハアハア！  
アスナさんのおまんこ  
ヌルヌルで  
気持ちいいです……！

コス  
ドロオ  
コス  
コス  
コス  
コス

そんな事言つて

本當は犯され

たかつたんやろ？

アスナは淫乱やもん

ね：♥クスツ  
♥

ああああっ！  
熱くて気持ちいい！  
アスナさんの  
おまんこすごい！  
すぐ出ちやいそうです！

あひいイーーー！  
バカあ！

が、我慢でき  
ません！  
いいですか？  
入れますよ！

ま、待つて！  
そんな：  
ダメよ！  
入れないで！

ひいつ！ひいいつ！  
激しそぎるよおつ！  
やあつ！壊れちゃう…！

にやあつ  
違うつ！  
私 そんな子  
じゃ：はあつ

アスナさん  
ごめんなさい  
でも、僕  
アスナさんと  
したい！



ハア！ハア！

こ・の・おつ!  
子供のクセに  
生意気ッ・!

ハア  
♥

ああうつ  
らめえつ  
♥ネギ  
♥

く、悔しい…!  
こんなガキに…!

ううつ  
ふううつ  
♥



す  
ご  
い  
・  
アスナさん!



ガキに犯されて  
感じるなんて  
…!

悔しい…!  
けど…

ハアツ  
♥

アスナさん  
・  
ああ!

んんんつ  
ハアツ  
♥





お仕書き♥いいんちょさん



あはああつ  
だしてつ♥私に愛を  
注いで下さいませつ♥  
ネギ先生の愛を  
私の中に：…♥  
ああアアアアアン♥



んんつ♥  
愛して  
ます  
ネギ先生♥  
もう離しま  
せんわ：♥

んふつ♥  
んつ♥  
あンツ♥



うううつ  
すごい：  
いいんちょ  
さん

## ♥せつなの秘密♥

「あ・・・はあっ♥はああ♥  
このかお嬢様あ・・・♥」  
人外の血が混じる私の身体は  
月経の数日前から激しく  
疼きだす・・・！ ゴシゴシゴシ！！  
「おちんちん・・・気持ちいい♥  
お嬢様・・・このかお嬢様・・・♥  
お嬢様の柔らかい身体に  
おちんちん擦り付けて精子  
ドピュドピュ射精したい・・・♥  
お嬢様にマーキングして  
私のものにしてしまいたい・・・！！  
お嬢様・・・好きです  
お嬢様あっ♥あああっ♥おちんちん  
イッちゃううううっ♥」

ドピュドピュドピュウウ！！！



「ひぐううっ！！ちんぽが、  
精子がすごい！！  
出てる・・・！身体の奥から  
精子が溢れて止まらない・・・！！  
ダメええっ！いけないことなのに  
止まらないよおおっ！！  
お、お嬢様ああ・・・♥  
このかお嬢様をオカズにして  
おちんちん射精しちゃううう！！！  
ピュルルルッ！！ボピュ！  
ドピュウウウウウウウッ！！！」



「せっちゃん：またウチで  
オナニーしてたんやね：

「ひつ……お、お嬢様！お許しを……」  
その……も、申し訳ございません……！」

「ふふっ♥別に怒ってへんよ?ただ、寂しいって思つてな:。せつかくパートナーになつたのにせつちゃん、独りで苦しんで: :」

「あつ：！い、いけませんお嬢様、そんな汚れた物をお触りになつては……」

二人で立派合 一いなわ  
触つただけで、せつちゃんのおちんちん  
ビンビン♥シゴいたらどうなるんかなあ♥」  
「ふあつ：シ二のちゃん：ダメ：です。

こんな：いけません：……」

「まだそんな」と呟つてえ。ウチで

オナニーしてたクセに。ほらほらあ  
感じてええんよ?ウチの手コキで

精子いっぱい出して♥ほらほらひらひら！」

אַפְּלָגָה אַפְּלָגָה

「ひいいつ！ダメっ：そんなにシゴいたら  
イツちゃいます！気持ちいい：！

おちんちん気持ちいいです・うううう「♥」  
「ウスクス：♥愛してるって言つてえ：？」

「タバコを愛してゐる一言、  
そしたら、金玉握り潰してイかせてあげる♥」

# 逆転！！エヴァ様VSサウザンドマスター



「フン、貴様の弱点が  
ブルマ姿での足コキだったとはな。  
盲点だったぞサウザンドマスター」  
「うう・・・許してくれ  
エヴァンジェリン・・・」  
「許して下さいだろ、この変態野郎！！」  
「ひいいっ！蹴らないでええ！！  
許して下さいエヴァンジェリン様ああ！！」  
「だめだ。貴様はもう私の奴隸だ。  
いいな？サウザンドマスター」  
「ひいい・・・」  
「可愛がってあげるよ坊や・・・♥」  
グリグリグリグリ



「ほら、気持ちいいんだろ？  
好きなんだよな、白ソックスが。  
気持ちよかったらもっと  
泣き叫べよ変態！  
ほらほらほらあ！！」  
ドカッ！ドゴッ！ズリズリズリ  
「ああああっ！！気持ちいい！  
気持ちいいですエヴァ様ああっ！ひいい！！」  
「あはははは！このバカ！エヴァ様～ん♥だって？  
女にちんちん苛められて悔しくないのか？  
真性のマゾブタだな、貴様は」



私に金玉踏まれて嬉しいか?  
真祖の私が人間ごときの金玉を潰して  
やるなんてこと そうそう無いんだからな。  
感謝して射精しろよ?変態野郎。

「ほらいけ!イッちゃえマゾ野郎!  
どうした?もっと強く踏んで  
やらないと感じないか?  
贅沢なマゾだな、この!この!」  
ドカッ!ガス!ガス!ガス!  
「ああっ!あひいっ!ひいいっ!!」  
「あははは!金玉潰すたびに  
ピクピク痙攣しあって!  
情けない奴だ!このチンカス!!!」  
「ひ、ひぐっ!イきます!  
エヴァ様あああああっ!!」  
ドビュウウウ!!ボブッ!ビュルルル!!  
「あははっ♥すっこい出た!  
ほら、皮を剥いてシコってやるから  
その汚い変態遺伝子 全部吐き出せ!」  
ズリズリズリ どびゅ!びゅるるる!!  
「ひぎいいいい!!皮がああっ!!」  
「ふふっ 惨めな包茎が治って良かったじゃないか。  
剥いてほしかったんだろ?いい年齢して情けない  
皮かむりちんちんが、やっと大人になれたんだ。  
感謝しろよ?包茎野郎♥ふふっ♥」



「ハア ハア お尻・・・！  
エヴァ様のお尻・・・！！」

「嬉しいか？クズ。貴様のような  
変態は 私の椅子がお似合いだ。  
そうやって一生私のお尻の  
匂いでも嗅いでろ！」

「う、嬉しいです・・・！  
好きですエヴァ様  
愛してます・・・！！」

「ふふっ♥ そうか。私の事が  
そんなに好きか。私も貴様が  
気に入ったぞ？椅子としてな！」

グリグリグリグリグリグリグリグリ  
「ふごおおおお！！エヴァ様・・・  
エヴァ様大好きいいいっ！！！」

ドビュドビュドビュ ビュヴォオ！！

「またイッたのか？  
お尻押し付けられて出すなんて  
どうしようもない変態畜生だな。  
あはははっ♥」



「お、おまんこ・・・エヴァ様の  
おまんこが見たい・・・！  
お願いします  
エヴァ様・・・！！ハアハア」

「え？おまんこ？あっ バカ！  
ブルマ脱がすんじゃない・・・！！  
やめっ・・・やめろバカーーー！！！」

「うおおおっ！！エヴァ様の  
おまんこおおおっ！！！」

ドビュウウウ！！ドビュビュ！

こ、この・・・  
この無礼者——！！！

ドビュ

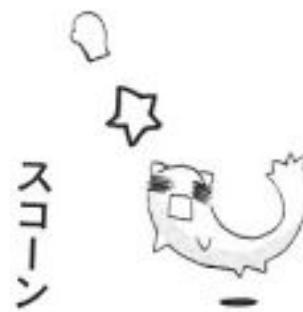
ズン  
ズン

アナルマスター

ゴー

スン！スン！スン！スン！スン！  
「えい！えい！貴様なんか  
こうしてやる！よくも私の  
おまん・・・をタダ見しあって！  
許さんぞ 変態！」  
「ふおおお！！ゆ、許してエヴァ様ああ！」  
「ふん。また 勃起してきたじゃないか。  
お尻ほじられて感じてるのか？  
恥ずかしい奴め。貴様は今日から  
アナルマスターとでも改名しろ！！」  
「イ、イぐううっ！エヴァ様にアナル  
犯されて出ちゃいます・・・！！  
あがああああああああ！！！」  
「あははは♥すごい！噴水みたいだぞ！？  
ケツ穴犯されるのがそんなに好きか？  
この変態！変態！変態！」  
スン！スン！スン！スン！スン！スン！  
ドビュ！ドビュ！ビュブウウウ！！

貴様のような変態の相手をしてやれるのは  
私だけなんだからな わかつたら一生  
私の側を離れるんじゃないぞ：：



三年A組 課外授業

2004 12/29 発行

印刷 コーシン出版

著者 大橋ひかる

本書の一部、または全部を

著者に無断で複製、転載する行為を  
禁止します。

え？ 私のブルマで  
抜いてほしいの？

もう・・・変な事ばっかり  
覚えて。やっぱり  
させてあげるんじゃ  
なかったかな・・・。  
な、何よ。泣きそうな顔  
しないでよ。私が悪い  
みたいじゃない。  
・・・もう！わかったわよ。  
してあげるわよ。  
まったく変態なんだから・・・。

ほら、こう？これが気持ちいいの？  
この肌触りが好きなんでしょ。  
それとも私が履いてたから？  
・・・両方？ふふっ、変態♥  
おちんちんコスれて気持ちいい？  
もうビクンビクンしてるわよ？  
イキそう？いいよ、イッて。  
いくとこ見ててあげるから♥  
ほら、出して・・・♥  
出しなさい♥

あげる  
全部絞り取つて  
もつと出して  
すっこい出でる！  
あはつ

